



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 デンヨー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6517 URL <https://www.denyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白鳥 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理部門長 (氏名) 田邊 誠

TEL 03-6861-1111

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	46,183	17.1	2,751	12.0	2,818	3.9	1,994	5.0
2022年3月期第3四半期	39,449	1.2	2,456	28.4	2,711	26.1	1,900	23.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,520百万円 (110.4%) 2022年3月期第3四半期 2,623百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	96.34	
2022年3月期第3四半期	91.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	89,102	68,120	73.2
2022年3月期	80,774	63,760	76.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 65,227百万円 2022年3月期 61,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		25.00	47.00
2023年3月期		23.00			
2023年3月期(予想)				25.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	3,400	6.9	3,500	13.1	2,400	12.8	115.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	22,859,660 株	2022年3月期	22,859,660 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,232,933 株	2022年3月期	2,140,078 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	20,707,208 株	2022年3月期3Q	20,862,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、物価上昇など景気の押し下げリスクが見られたものの、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和により経済活動が正常化してきたこともあり、緩やかに持ち直しました。一方、世界経済も緩やかな持ち直しが続いておりますが、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる景気後退懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、都市再開発工事やインフラ補修工事など建設市場向けが堅調に推移し、防災減災関連の需要も底堅く推移いたしました。建設資材不足等による工期延期などにより、出荷を予定していた一部製品の納期が後ろ倒しになる影響なども見られました。海外においては、アメリカ市場で強い需要が継続し、アジア市場や中近東市場でも円安などを背景に順調に回復いたしました。一方、供給面においては、部品の納入遅延が一部製品の生産に影響し、また、原材料価格の高止まりが製造原価の上昇要因となりました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、生産資材のグループ内融通などによる生産の安定化に注力し、製品展示会への積極的な出展や海外における受注拡大に努めた結果、売上高461億83百万円（前年同期比17.1%増）となりました。利益面においては、原価上昇分の販売価格への反映効果が現れてきたこともあり、営業利益27億51百万円（同12.0%増）、経常利益28億18百万円（同3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億94百万円（同5.0%増）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

なお、各セグメントの連結業績は、各地域を所在地とする当社及び連結子会社各社の業績を基礎としております。したがって、日本セグメントの連結業績は2022年4月から12月まで、日本以外のセグメントの連結業績は在外連結子会社の第3四半期決算日が9月末日であるため、2022年1月から9月までのものとなっております。

(日本)

日本は、主力の国内レンタル市場における需要が堅調に推移し、また、アメリカやアジア市場向けに発電機の輸出も増加しましたが、一部の建築工事の工期延長が建物に設置する非常用発電機の納期延期に波及した影響もあり、売上高308億90百万円（前年同期比1.4%減）となりました。また、原材料価格の高騰による売上原価率の上昇もあり、営業利益13億66百万円（同33.1%減）となりました。

(アメリカ)

アメリカは、需要は高水準に推移しており、大手レンタル市場向けに発電機の出荷が増加したことに加え、円安による効果もあり、売上高114億79百万円（同96.5%増）、営業利益4億76百万円（前年同期は28百万円の営業損失）となりました。

(アジア)

アジアは、資源開発やインフラ整備向けなどの需要が全般的に回復基調にあり、円安による製品の価格競争力の上昇も追い風となり、売上高34億21百万円（同54.6%増）、営業利益8億43百万円（同109.3%増）となりました。

(欧州)

欧州は、主要な販売先である英国市場向けに出荷が回復したことから、売上高3億92百万円（同430.4%増）、営業利益25百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、625億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億54百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が20億73百万円、原材料及び貯蔵品が36億84百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、265億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億73百万円増加いたしました。これは主に、土地が12億43百万円、建設仮勘定が9億9百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、891億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億27百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、180億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億49百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が26億98百万円、電子記録債務が8億54百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、29億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が74百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、209億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億68百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産は、681億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億59百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上19億94百万円や、その他の包括利益累計額の増加29億79百万円、配当金の支払10億33百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.8ポイント下降し、73.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内外ともに需要は堅調に推移するものと予想しておりますが、一部の生産資材の調達は依然として不安定な状況にあり、また、更なる原材料コストの上昇も懸念される状況であります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、供給の安定化と継続的な原価低減に努めるとともに、第二次中期経営計画「Denyo2023」の各種施策を着実に実行してまいります。

連結業績予想につきましては、2022年11月10日に公表いたしました予想から変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,358	21,692
受取手形	4,102	3,667
電子記録債権	4,306	4,368
売掛金	11,856	13,930
有価証券	999	999
商品及び製品	5,086	4,731
仕掛品	1,724	2,680
原材料及び貯蔵品	6,049	9,734
その他	392	724
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	56,872	62,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,140	7,509
機械装置及び運搬具（純額）	2,011	1,807
土地	5,066	6,310
建設仮勘定	319	1,228
その他（純額）	226	205
有形固定資産合計	14,764	17,061
無形固定資産	694	796
投資その他の資産		
投資有価証券	8,092	8,355
繰延税金資産	226	207
その他	127	157
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,443	8,717
固定資産合計	23,902	26,575
資産合計	80,774	89,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,026	11,725
電子記録債務	2,554	3,408
短期借入金	210	210
未払費用	553	718
未払法人税等	404	84
賞与引当金	642	393
役員賞与引当金	66	46
製品保証引当金	98	102
その他	713	1,329
流動負債合計	14,269	18,018
固定負債		
長期借入金	856	928
リース債務	283	327
繰延税金負債	1,113	1,188
退職給付に係る負債	458	508
その他	31	10
固定負債合計	2,744	2,963
負債合計	17,013	20,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,788	1,788
利益剰余金	56,500	57,462
自己株式	△2,598	△2,724
株主資本合計	57,645	58,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,209	3,312
為替換算調整勘定	591	3,460
退職給付に係る調整累計額	△33	△26
その他の包括利益累計額合計	3,766	6,746
非支配株主持分	2,348	2,892
純資産合計	63,760	68,120
負債純資産合計	80,774	89,102

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	39,449	46,183
売上原価	30,915	36,883
売上総利益	8,534	9,300
販売費及び一般管理費	6,078	6,549
営業利益	2,456	2,751
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	139	185
受取家賃	61	61
為替差益	11	—
持分法による投資利益	15	152
その他	43	30
営業外収益合計	302	467
営業外費用		
支払利息	31	33
為替差損	—	347
その他	15	19
営業外費用合計	47	400
経常利益	2,711	2,818
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	28	39
特別利益合計	29	39
特別損失		
固定資産処分損	38	1
特別損失合計	38	1
税金等調整前四半期純利益	2,702	2,856
法人税、住民税及び事業税	683	796
法人税等調整額	112	57
法人税等合計	795	853
四半期純利益	1,906	2,002
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,900	1,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	101
為替換算調整勘定	940	3,407
退職給付に係る調整額	8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	716	3,518
四半期包括利益	2,623	5,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,473	4,974
非支配株主に係る四半期包括利益	149	545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,322	5,841	2,212	73	39,449	—	39,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,084	235	3,224	3	6,547	△6,547	—
計	34,406	6,076	5,436	77	45,996	△6,547	39,449
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	2,043	△28	402	△12	2,406	50	2,456

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,890	11,479	3,421	392	46,183	—	46,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,684	397	4,702	3	9,787	△9,787	—
計	35,574	11,877	8,123	395	55,971	△9,787	46,183
セグメント利益(営業利益)	1,366	476	843	25	2,710	40	2,751

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

製品区分別及び販売地域別に分解した収益の情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	前期比 (%)
発電機	31,085	38,289	7,204	23.2
溶接機	3,619	3,325	△293	△8.1
コンプレッサ	588	573	△15	△2.6
その他	4,157	3,995	△161	△3.9
顧客との契約から生じる収益	39,449	46,183	6,733	17.1
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,449	46,183	6,733	17.1

(単位：百万円)

販売地域の名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	前期比 (%)
日本	24,624	23,665	△959	△3.9
海外	14,825	22,518	7,692	51.9
アメリカ	9,248	15,694	6,445	69.7
アジア	3,287	4,909	1,622	49.4
その他	2,289	1,914	△375	△16.4
顧客との契約から生じる収益	39,449	46,183	6,733	17.1
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,449	46,183	6,733	17.1

(重要な後発事象)

該当事項はありません。